

2017年度事業計画書
(2017年9月1日から2018年8月31日)

特定非営利活動法人劇研

1 事業実施の方針

当法人の原点である劇場運営事業が「アトリエ劇研」閉館により終了となる。しかし、引き続き舞台芸術を中心とする、芸術・文化によって市民生活や社会に豊かさがもたらされるよう既存事業の充実を図り、新規事業にも積極的に取り組む。文化芸術による社会包摂の促進が言われる昨今、総合支援学校などでの授業や事業の実施も行えるよう、「文化・芸術を教育や児童青少年育成に活用する事業」の充実を計る。いきいき市民活動センターの指定管理事業やむすぶプロジェクトなど文化芸術によって社会や地域のまちづくりに貢献する事業「文化・芸術による地域のまちづくり事業」を前年度に引き続き充実・拡大する。人材育成事業を拡大・発展させ特に地域の舞台芸術の質向上に貢献するとともに、人材育成を通じて海外の関係機関とも連携し、国際交流事業への発展を探る。高齢者の健康維持にも貢献が高く、社会的ニーズが一段と高まっているシニア向け事業の拡充を図るとともに、人気の高いシニア劇団運営事業の拡充を図り新たに1劇団を立ち上げる。各事業においてインターネットやその他の媒体を使った広報・宣伝のさらなる充実を図り、多様な市民に必要とする情報が広く行き届くよう努める。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び	支出見込み額(千円)
創造事業	シニア世代の表現活動事業の発展的継続。(シニア劇団3団体/高槻シニア劇団3団体) *アトリエ劇研閉館に伴いアトリエ劇研シニア劇団の名称変更京都市内を活動拠点とする新劇団を1つ立ち上げる。また、2018年秋以降に高槻を活動拠点とする新劇団を立ち上げるため、プレワークショップを実施する。	活動は通年/公演:各グループ年1回~2回の公演	いきいき市民活動センター、人間座スタジオ他	担当2名/講師6名	総観客数見込み1,800名	7,000
人材育成事業	演技者育成事業「劇研アクターズラボ」の継続(京都2クラス、高槻1クラス)	活動は通年/公演各クラス年1回の公演	いきいき市民活動センター、京都芸術センター、高槻現代劇場	担当2名 延べ36名	総観客数見込み1,000名	5,000
国際交流事業	パリ(フランス)に本拠をおくプロダクションHauts Parleursとカンヌ(フランス)に本拠を置く、フランストップクラスの国立の演劇学校ERACと共同して、主に京都で活動するアーティストによるワークショップをパリとマルセイユで開催するとともに、ERACの俳優及び数カ国の俳優が参加して創作する作品へ京都のアーティスト及び人材育成事業で育った若手俳優を参画させ、マルセイユで上演を行う。	2018年2月17日~3月4日ワークショップ。(パリ、マルセイユ) 2018年3月5日~3月18日リハーサル・公演(マルセイユ)	La Nef劇場(パリ)、 ERAC(マルセイユ)	担当1名/アーティスト5名		800

文化・芸術活動支援事業	1) 芸術文化に関する催し、団体に対して、人材、機材、各種サービスを提供/ 2) 京都造形芸術大学へのアドバイザースタッフ派遣/近畿大学への高所作業指導派遣 3) 高校演劇大会へのスタッフ派遣 4) (公益財)高槻市文化振興事業団からの演劇プログラム委託事業	1) 随時 2) 随時 3) 2017年秋 4) 『高槻de演劇』事業の企画制作業務受託	高槻現代劇場/京都造形芸術大学/近畿大学ほか	22名	2900名	5,400
いきいき市民活動センター管理運営事業	京都市左京西部および東部いきいき市民活動センターの管理・運営および高齢者ふれあいサロンの管理運営と地域活性化に関わる事業の実施	継続実施	京都市左京区養正田中地区、錦林地区	20名	60,000名	43,000
文化・芸術を教育や児童青少年育成に活用する事業	学校の授業において、演劇を活用した授業の実施	随時	京都府下及び高槻市内	担当1名/指導者5名	300名	200
文化・芸術による地域のまちづくり事業	・左京区田中地域の地域住民と連携した地域の居場所づくり事業(左京西部いきいき市民活動センター事業と連携)	2018年7月ごろから随時	左京区田中地区	担当3名	200名	200

その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び	支出見込み額(千円)
予定なし						